



下郷中だより

◇下郷中学校教育目標◇

「知性」「品格」「健康」

○教育目標達成の合言葉

「笑顔・あいさつ・思いやり・清掃」

No. 10 令和5年1月30日(月)

文責 下郷中学校長 我妻雄比古

「第3学期始業式」

始業式の式辞を掲載します。



みなさん、新年あけましておめでとうございます。
年末年始は楽しく過ごすことができましたか？

さて、2023年がスタートしました。

「1年の計は元旦にある」という言葉がありますが、
新年のスタートに当たり目標は立てましたか？

目標に向かってこれからの日々、努力をしていくことはとても大切です。

努力し続けることは、困難が伴います。

遊びたい、好きなことをしたいなど私達の生活には誘惑もたくさんあります。

しかし、こちらを見てください! → 〈1枚の紙を見せる〉

この1枚の紙はとても薄っぺらで、簡単に破くこともできます。

でも、こちらを見てください! → 〈365枚の紙の束を見せる〉

ここには365枚の紙があります。たった1枚だと薄っぺらなのに、

こんなに厚い紙の束になるのです。365枚は1年に例えました。

つまり努力をひとつひとつ積み重ねることで確実に力はつき、このような違いになります。

頑張っって欲しいと思います。

次に、クイズを出します! → 〈「あ・い・う・お・お」と書いた紙を見せる〉

この言葉の意味、皆さんは分かりましたか？

答えは、「えがお」です!

今年1年楽しい時ばかりではなく、苦しい時もあるでしょう。

しかし、そんな時こそ困難を乗り越えて笑顔になって欲しいという願いです。

努力は続けることで実りますが、続ける時が辛い時もあるでしょう。

そんな時に広い視野を持ってください。

苦しい時は自分だけが苦しいのではないことが分かるでしょう。

そして、明けない夜はないということも分かるようになるでしょう。

安心して暮らせることに喜びと感謝の気持ちを忘れず、

笑顔の多い1年でありますよう心からお祈りして式辞といたします。



2月の行事予定

1		11	建国記念日	21	
2	生徒会総会 PTA役員会	12		22	NRTテスト(1・2年)
3	1・2年スキー教室 3年実力テスト	13	1・2年期末テスト	23	天皇誕生日
4		14	↓	24	卒業式全体練習・生徒会専門委員会
5		15	新入生説明会	25	
6	NRTテスト(3年)	16	卒業式全体練習	26	
7		17	授業参観・PTA総会・学年保護者会	27	清掃強化週間~3日
8	職員会議	18		28	
9	SC来校・PTA役員選考会・常任委員会	19			
10		20	全校朝会		

新型コロナウイルス感染症の状況によっては変更になることがあります。

学校での活動の様子を随時ホームページでお知らせしています。是非ご覧ください。

裏面もご覧ください

下郷町教育ポータルから検索 <https://shimogo.fcs.ed.jp/> 下郷中学校

「転入先生紹介」

第5回 よこかわ 横川 きょうか 杏花先生（栄養職員）

1 出身地
須賀川市



2 趣味

カフェ・雑貨屋巡り、御朱印集め

3 座右の銘

「健康第一」

何事も健康であってこそだと思っています。自分を甘やかす日もあっていいと思いますが、心身の健康管理を自分でできるように心がけています。

4 栄養職員を目指した理由

管理栄養士の学校で病院実習に行った時、病気で苦しむ方や食べ物に制限がある方を目の当たりにして、食への知識と病気の予防につながる食習慣が重要だと感じたことから、食習慣形成時期の子どもたちに食の大切さを伝えたいと思い、学校栄養職員を目指しました。

5 中学生時はどのような生徒でしたか？

目立つのが苦手でしたが、何事もとりあえずやってみようと挑戦をする中学生でした。部活動は、特設陸上・駅伝部、卓球部、特設合唱部を経験し、大きな活躍はしていませんが、休まない・手を抜かないをモットーに取り組みました。

友人にも恵まれ、今でも年に1~2回集まって、おいしいものを食べに行ったり、近況を話したりする仲です。

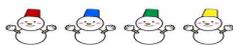


6 今一番はまっていること

録画した過去ドラマを一気に見ること。

7 下郷中の生徒について

とてもかわいい笑顔を向けてくれる生徒が多く、疲れが癒されます。話し方も優しい生徒が多いと思います。時々おもしろい話も聞けたり、給食についての感想が聞けたり、給食の時間に皆さんに会えるのが1日の楽しみです。ぜひ、これからもその笑顔を大切に、元気で明るいあいさつを続けてください。



「雪ん子」より



大寒は過ぎ、立春に向かっておりますが、先日の寒波といいまだまだ寒い日が続きますので、しっかり寒さ対策を行ってください。さて、先日の全校朝会で私が中学生時に書いた卒業文集の「雪ん子」第5号の、「卒業にあたってひとこと」について、ちょっと恥ずかしかったですが、全校生徒に紹介しました。現在、編集委員により今年度の「雪ん子」を作成しています。完成が楽しみです！

また、「雪ん子」の題字については、昭和49年度の卒業生が下記のように述べています。

雪ん子とは、「北国の子ども」を象徴し、素朴さ、素直さ、あたたかさを物語っています。私達の中には、北国をあとに旅立っていく人、北国に残る人とがあり、それぞれの新たな世界を求めて散らばっていきます。

どんなに遠く離れていても心は一つ、学びしある日を思い出し、風雪に耐えて力強く生きていかなければなりません。

この表紙を見て、人間のつながりは果てることなく、数珠のように連なり、友をなつかしみ、過ぎし日を思い出して欲しいものです。

